ソフトウェアジャパン2019
CITPフォーラム

今の時代を支える
30～40代のIT技術者同士の交流を通じて

2019年2月5日

日本電気株式会社
服部 智明

CITP 認定情報技術者
Certified IT Professional

ACCREDITED IPP

自己紹介：服部　智明（はっとり　ともあき）

日本電気株式会社
製造・装置業システム開発本部

愛知県出身、1987年3月生まれ（31）

CITP認定番号：16000335
データベーススペシャリスト
ITストラテジスト
NECプロフェッショナル認定制度
（ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄｵｰｶﾞﾅｲｼﾞﾝｸﾞ・ｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ）

CITPコミュニティ　アラサー技術者交流SIGで活動

今の時代を支える30～40代のIT技術者同士の交流を通じて

イントロダクション

Society5.0が今の時代のキーワード(平成28年1月22日に閣議決定された科学技術基本計画において提唱)

- IoT、人口知能、経済発展、社会的課題の解決…
- 今求められるIT技術者ってどんな姿？

引用：ソサエティ5.0 - 政府広報オンライン
https://www.gov-online.go.jp/cam/s5/

引用：IT人材白書2018　表紙

Society5.0の時代を生きるIT技術者に求められること

先進テクノロジについていく

（IoT、ディープラーニング、ブロックチェーン…）

ITだけでなくビジネスの感性も

（ITは企業戦略、新事業や新たな価値の発掘…）

価値創造型人材にシフト

（問題を発見する力、デザイン力、創造性…）

（例えばこんなこと）

Uber 世界最大級のライドシェア事業者Uber

人間前提のビジネスプロセス

IT前提のビジネスプロセス

利用者と働き手にとって新たな価値を創造

自分自身、気が付けば先進テクノロジが変化

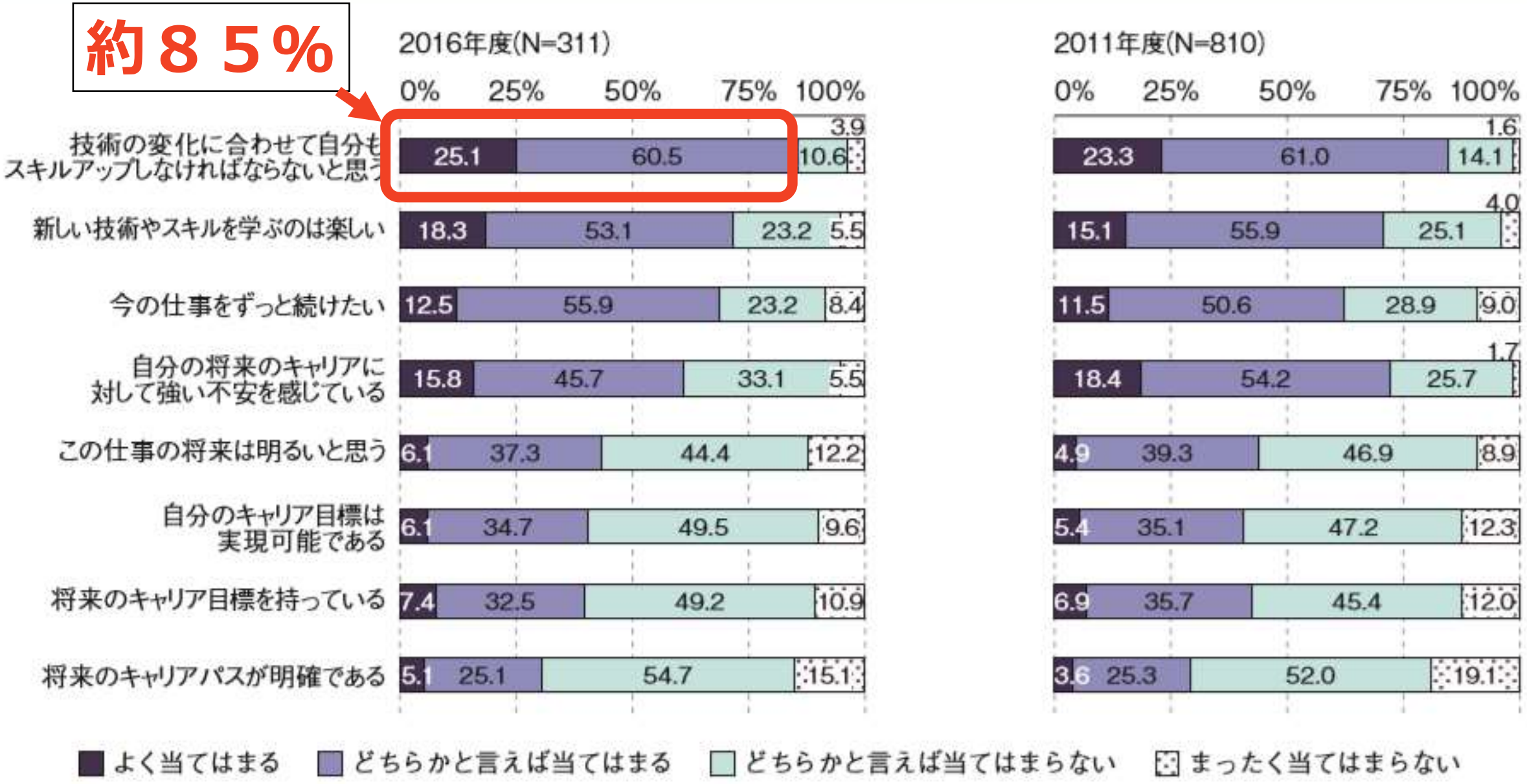
2011年
（クラウド）

オンプレからクラウドへ
移行するPJ沢山

2018年
(IoT,AI…)

日進月歩の業界、スキルアップしていかなければ！

図表3-6-5 IT企業IT技術者のキャリアやスキルアップに対する考え方（30代-40代）【2016年度と2011年度】



引用：IT人材白書2017 p217

今の時代を支える30～40代のIT技術者同士の交流を通じて

CITPコミュニティ　- アラサー技術者交流会

同世代の人と楽しみながら自己成長する場

CITPコミュニティに属する
高度IT人材メンバーが有する、
「活きた知識やノウハウ」

ITに関わるテーマをネタに
30～40代の
IT技術者間で交流

同じような課題意識を持つメンバーとアラサー技術者交流会を企画

- 第1回アラサー技術者交流会　2018/03/07(水)
  - IBM Watson のコグニティブの力で医療は新しい世界へ

AI

- 第2回アラサー技術者交流会　2018/07/23(月)
  - Microsoft Azureでモノ作りを体験しよう

クラウドファースト

参加者は１０数名、様々な企業の方が参加

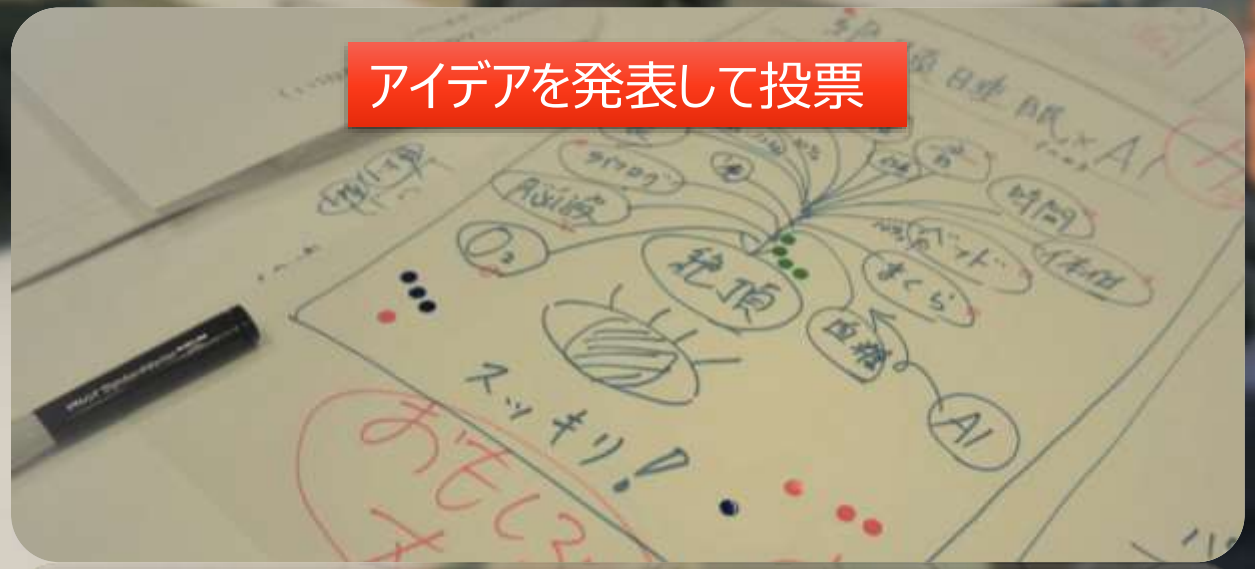
第一回アラサー技術者交流会

～IBM Watsonのコグニティブの力で～

～医療は新しい世界へ～

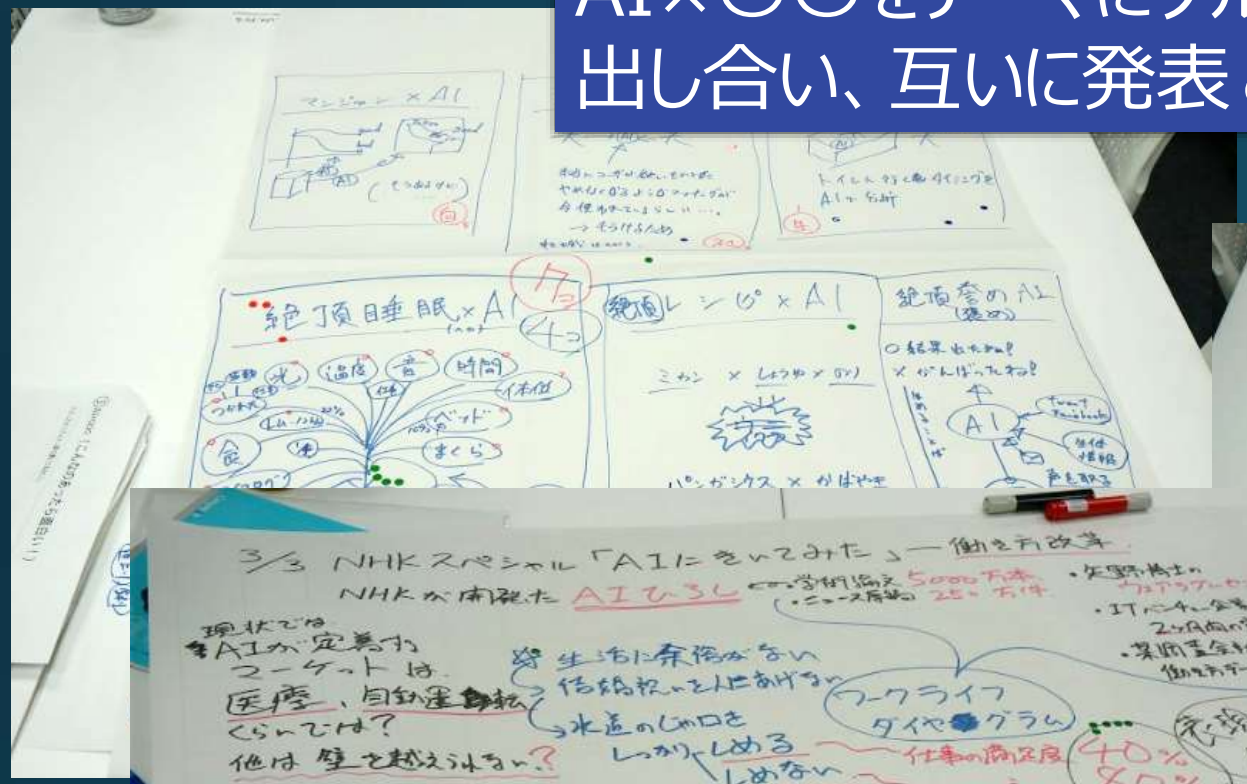
IBM Watsonを利用した最先端AI医療の話を聞き AIを用いた未来を良くするサービスを議論

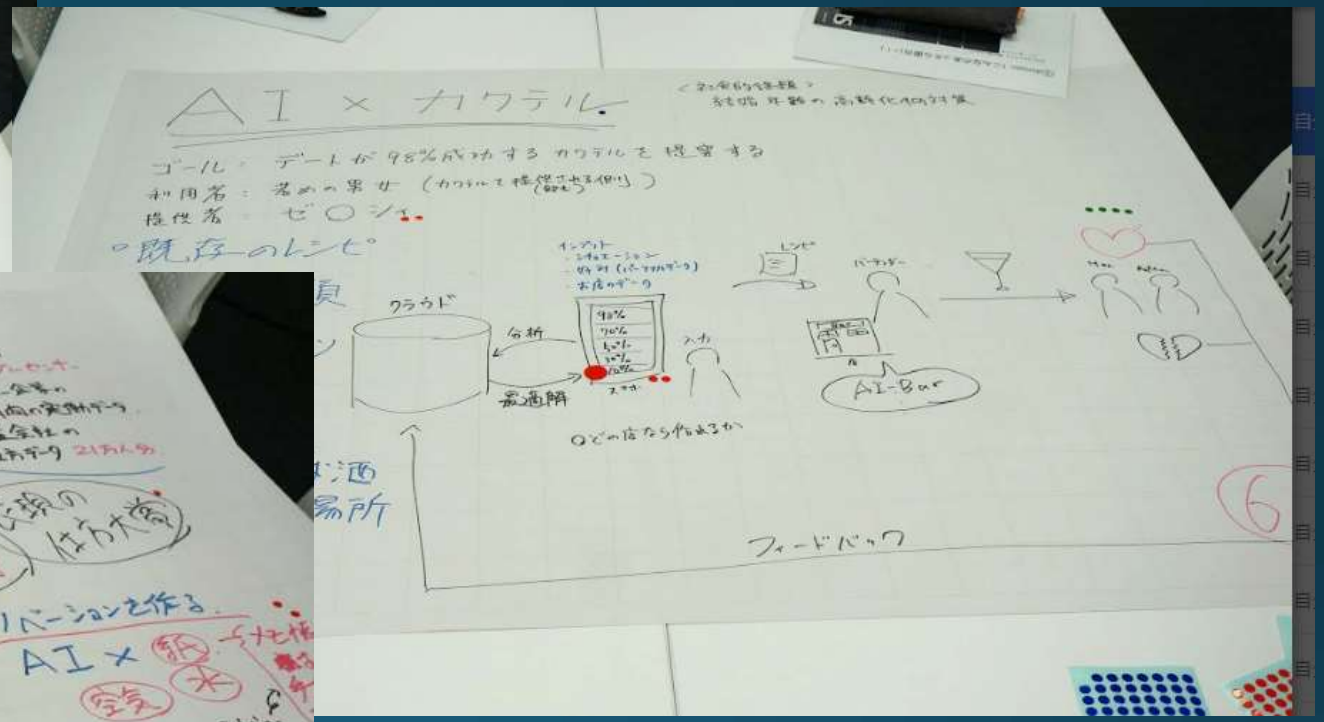
IBM赤坂氏より講演頂きました

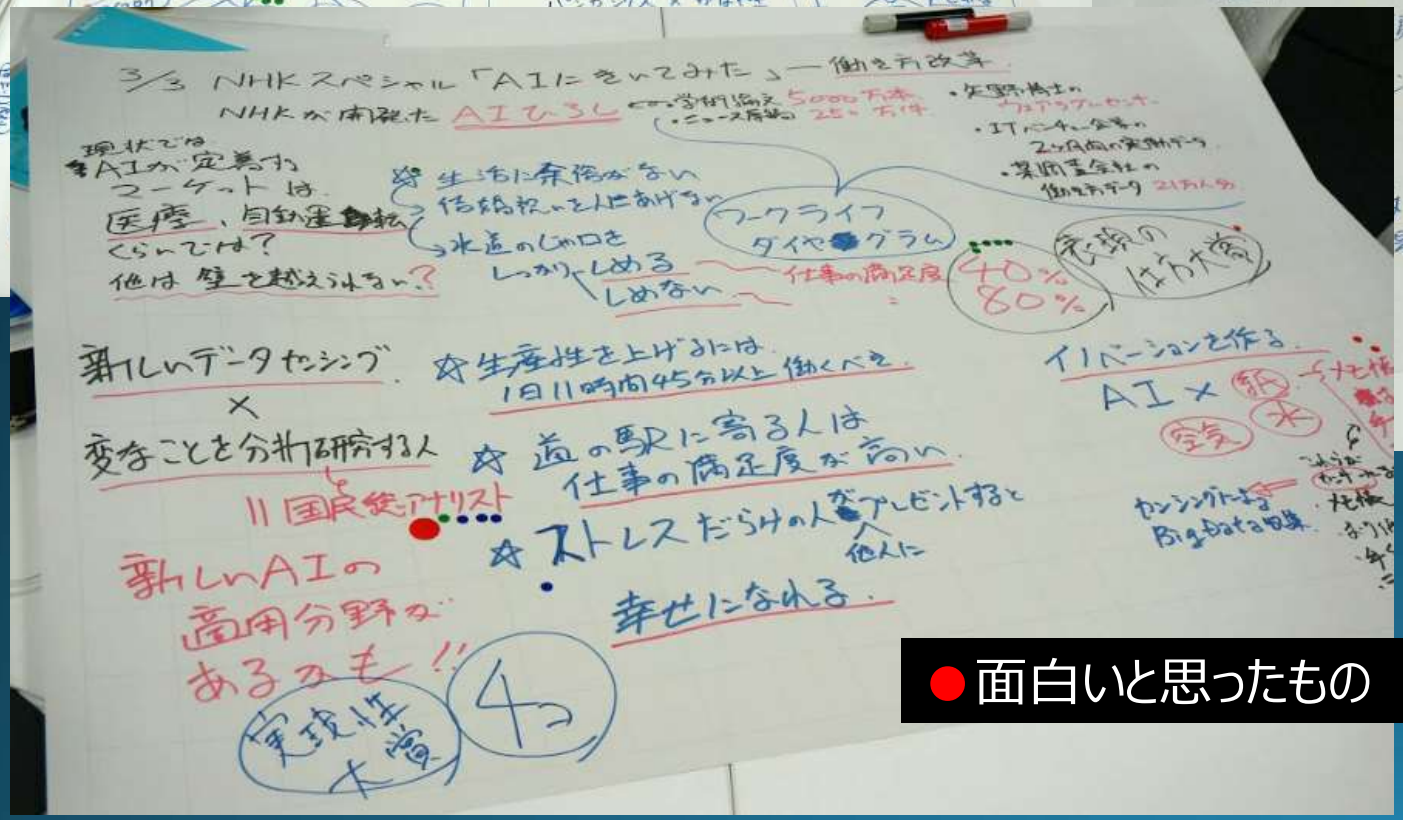


アイデアを発表して投票

AI×〇〇をテーマにグループで自由にアイデアを出し合い、互いに発表＆ベストアイデアに投票







●面白いと思ったもの　●実現性があるもの　●わかりやすいもの

第二回アラサー技術者交流会

～クラウドサービス勉強会～

クラウドサービスを利用した簡単なアプリケーション構築のハンズオンを開催

目標はクラウドを体験すること

クラウドサービス勉強会

クラウドってなに？

こんな状況だと、、、

クラウドってなに？
なにがすごいの？って聞かれるように
なってませんか？

→今日の目標は、
実際にクラウドの凄さを体験してみること

実際にアプリケーションを作成

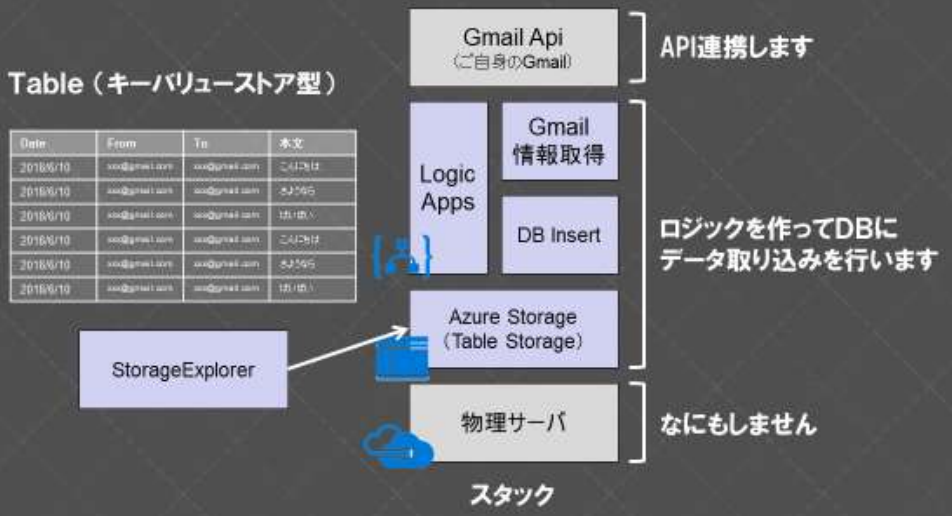
クラウドサービス勉強会

ハンズオン！（LogicAppを使ってメールDBを作ろう）

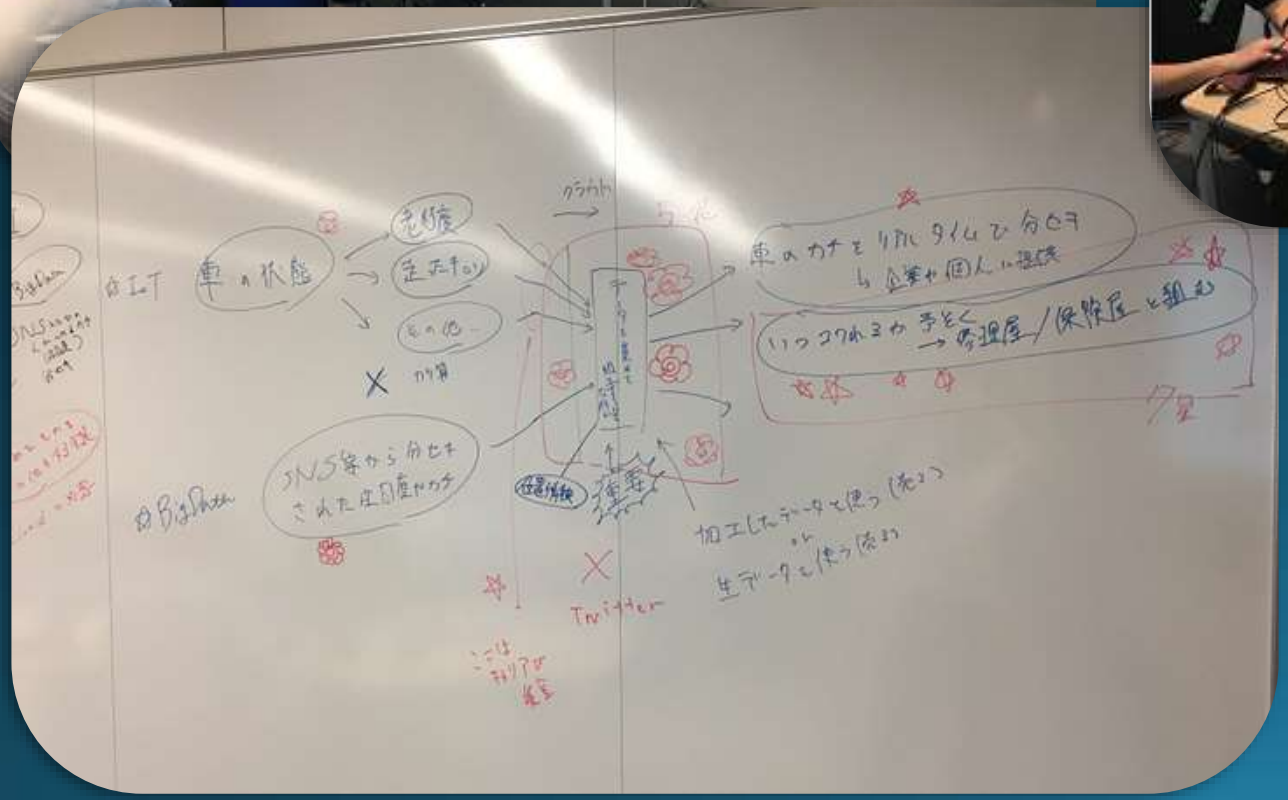
これから、Azureのサービスを使って、Gmailからデータ抽出し、
メールDBを構築します。

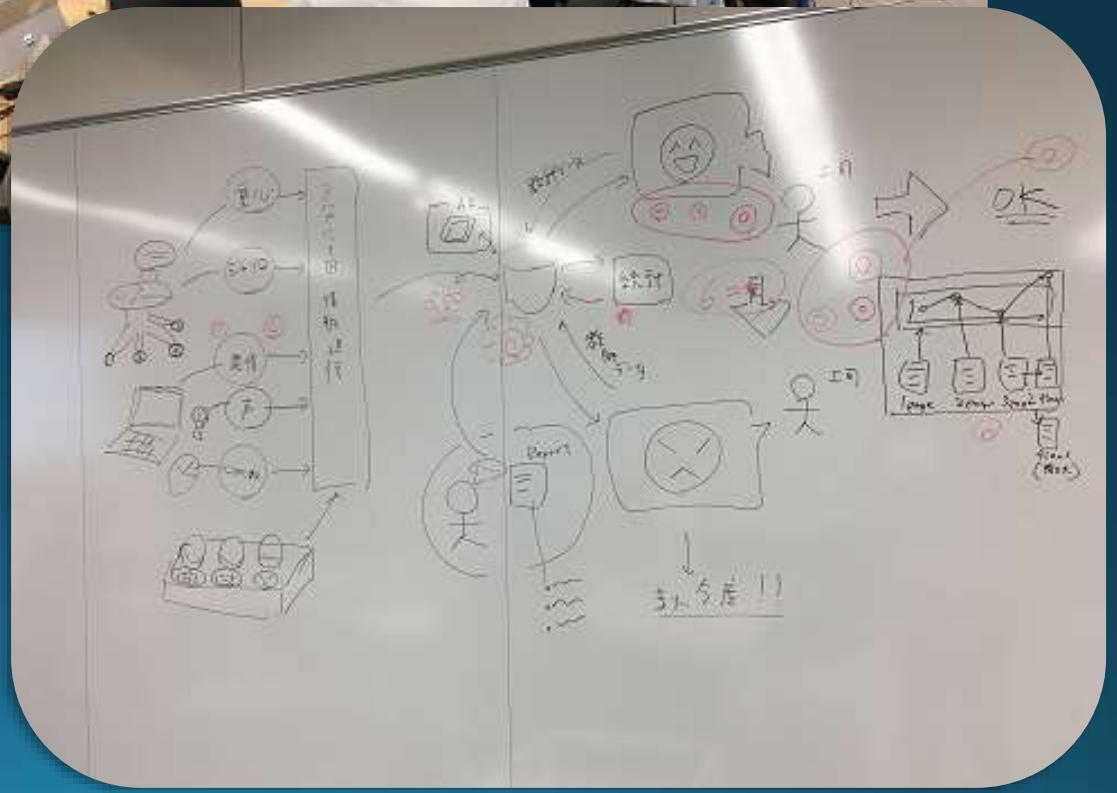
Table（キーバリューストア型）

Date	From	To	本文
2016/6/10	xxx@gmail.com	xxx@gmail.com	こんにちは
2016/6/10	xxx@gmail.com	xxx@gmail.com	さようなら
2016/6/10	xxx@gmail.com	xxx@gmail.com	切り替え
2016/6/10	xxx@gmail.com	xxx@gmail.com	こんにちは
2016/6/10	xxx@gmail.com	xxx@gmail.com	さようなら
2016/6/10	xxx@gmail.com	xxx@gmail.com	切り替え



ハンズオンで得た知識を使ってクラウドでこんなことができたら面白い！というアイデアをディスカッションし発表＆投票

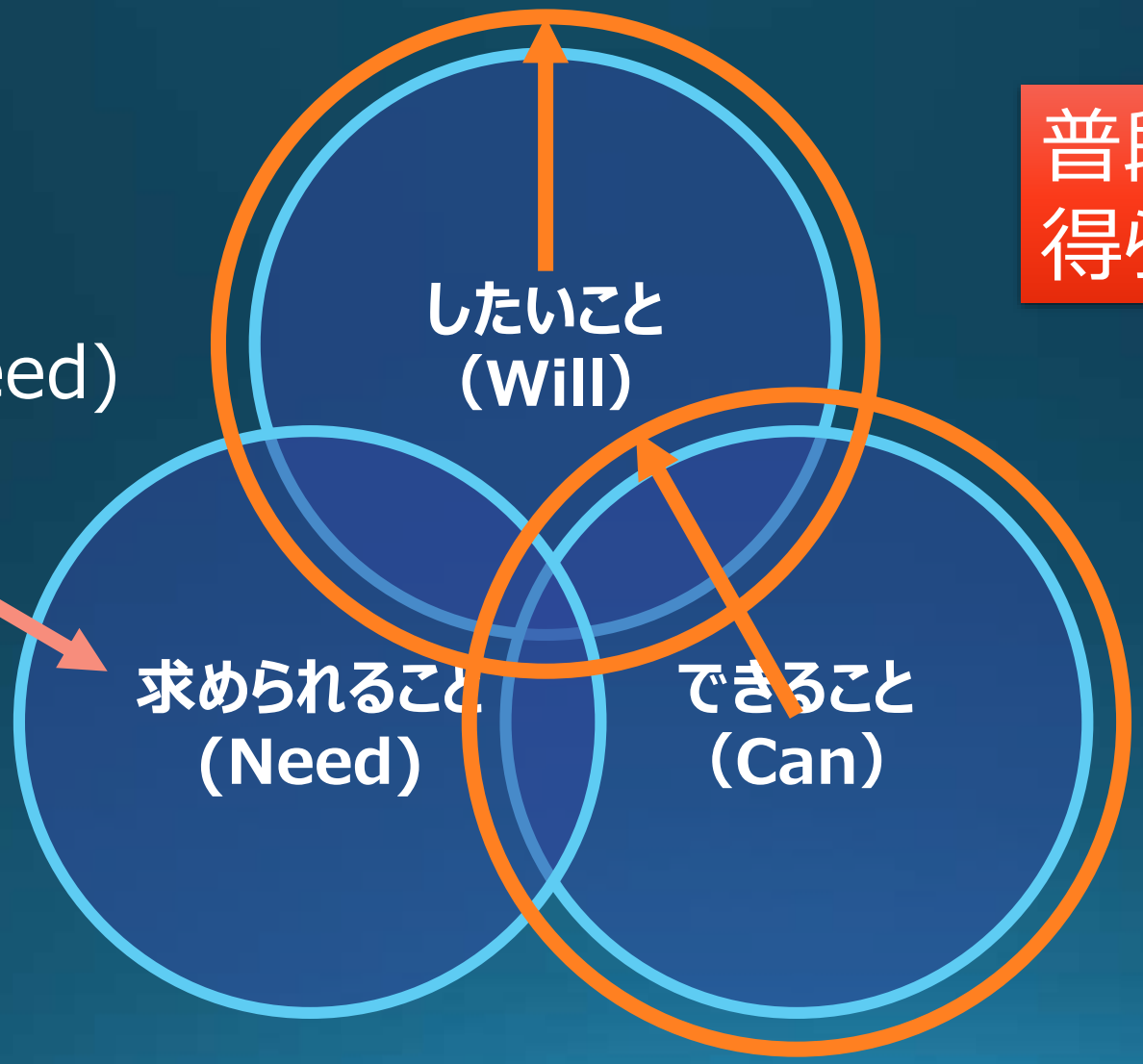




アラサー技術者交流会は

CanとWillの領域を広げる活動

結果として、
求められる領域(Need)
をカバーしていく

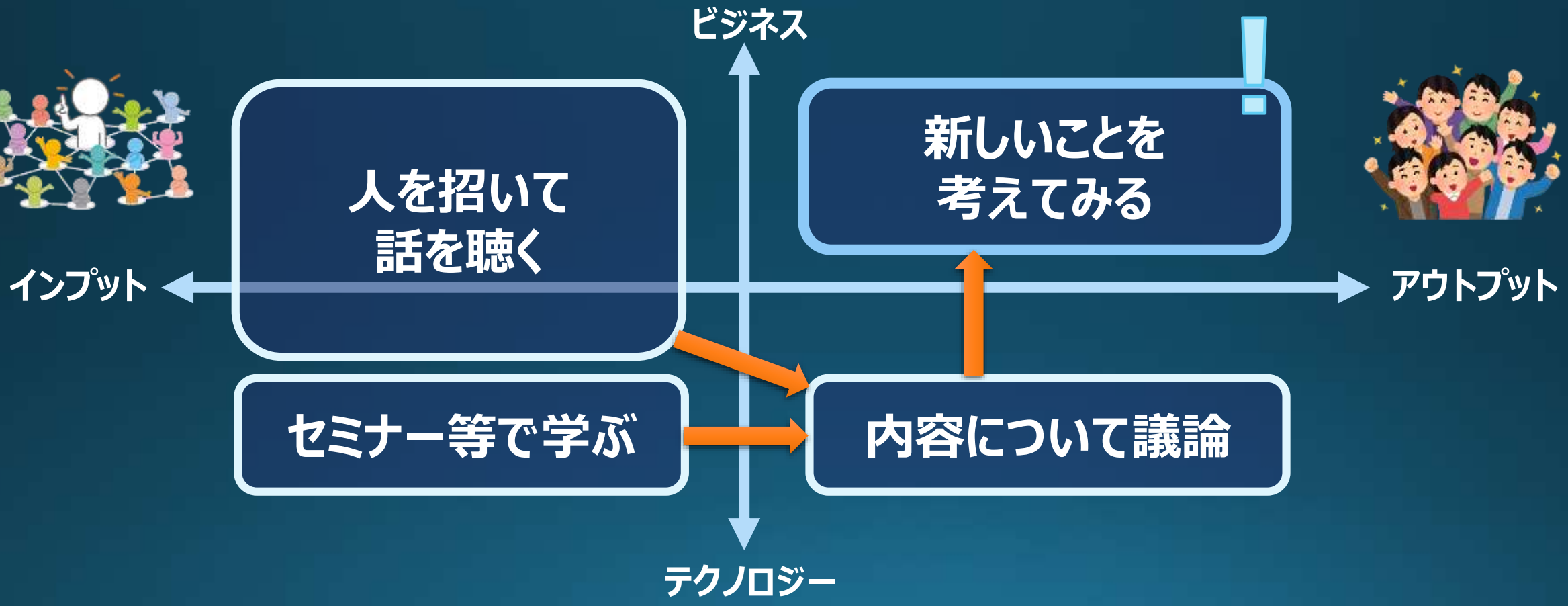


普段とは違った場で
得られる気づき

アラサー技術者交流会は

４つのマトリクスで内容を構成

ITとビジネスの観点を身につけ、新しいことを考える力がつくような活動を考えていく



今の時代を支える30～40代のIT技術者同士の交流を通じて

交流を通じて感じること

①飛び出すアイディアの違い

講演・セミナーのあとのディスカッション→グループ発表
・企画が得意な人からは斬新な面白いアイデア
・アーキテクトが得意の人からはIT面での実現性
・お客様とよく会話する人からはわかりやすいビジュアル

→　１つのテーマでもいろんな角度からアプローチ
→　各々の企業ごとに形成されている文化の中で
培ってきた経験や知識の違いが現れる

②同じ課題意識を持つメンバーだからこそ

和気あいあいとした雰囲気で参加できる
→　そして、聞く(インプット)だけでは終わらず、
　　みんなで考えてアウトプット（真剣に楽しむ）

イベント後の懇親会ではオフレコ話が弾む
→「え？そんな制度があるの？」

（参加者へのアンケート）

クラウド（Azure）の全体像に関するイメージがよくつき、
実際の利用イメージや課題等が考えられるようになった。

内容が楽しかった

和気あいあいとした雰囲気がよかったです。

Azure に触れることができた。

正直なところコーディングレスなアプリ作成とかバカにしていたけれど、内部をわかった上で、手軽に作れるのであれば、結構使えそう！と感じることができました。

Azureの具体的な操作と、活用活用性が掴めた。

キチンとクラウドサービスを使ってみたのが初めてだったので、こんなにも簡単にアプリが作れてしまうことに驚きました。

講師の説明が分かりやすく、Microsoft Azureを利用しクラウドシステムを構築することの簡易さが良く分かりました

これまで独学でクラウドサービスを学ぼう試みたことは何度かあったが、なかなか取り掛かれずにいたので、今回クラウドについて間歩ことが出来よかったです。実際にハンズオンで行えたのも有意義でした。手を動かすのは素晴らしい。

最後に

- Society5.0の時代のIT技術者として生き抜くために
  → まずは主体的に普段の業務とは違う内容に触れ、違う人と交流
  → いつもと違う知識や知恵、考え方に触れることで
  自身の業務や活動を振り返るきっかけに

- 共感頂いた方、興味を持たれた方、是非とも次回のイベントからでもご参加ください
（2019年4月に企画中。イベント案内はCITPメーリングリストとconnpassで発信！）

ちょっとした大人の社会科見学感も味わえます